

3月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔平成28年3月末現在〕

平成28年4月12日
茨城県中小企業団体中央会

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」「売上高」「収益状況」全ての指標で改善した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」は全て悪化した。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」全て改善した。

景況DI

製造業は、前月比14.5ポイント悪化の-52.0ポイント、非製造業は、前月比19.4ポイント改善の-34.8ポイント、全体では、2.1ポイント改善の-43.8ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比2.8ポイント悪化の-32.0ポイント、非製造業は、前月比20.1ポイント改善の-17.4ポイント、全体では、8.3ポイント改善の-25.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比10.2ポイント悪化の-56.0ポイント、非製造業は、前月比28.3ポイント改善の-21.7ポイント、全体では、8.3ポイント改善の-39.6ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成28年3月分）

業	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	パン	食の安心安全、子供たちの食育を心掛け、仕事にあたっている。機械の老朽化と従事者の高齢化が進んでいる。週1回だけのパン製造では、機械の手入れや工場内外の清掃に時間を取られるだけでなく、経費も掛かり維持していくのが大変。家内工業が大半なので良い方策はないだろうか。
		味噌	
		酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 2月の課税移出数量は、前年同月比97.7%とやや回復したが、普通酒の落ち込みを特定名称酒でカバーできなかった。特定名称酒の伸び率は前年比105.9%と平成24年以降毎年前年を上回っているが、普通酒は同月前年比93.2%と依然として落ち込みが続いている。2月の本格焼酎は、前月まで大きく落ち込んでいたが、前年同月比106.5%と増加に転じた。しかし、出荷調整もあり先行きは不透明。焼酎の平成27年1月～12月までの全国年間課税移出数量は、前年同月比98.3%と減少しており、輸出免税数量も同85.5%と落ち込んでいる。その反面、平成27年1月～12月の清酒輸出数量は前年同月比111.4%、金額ベースで140億円同121.8%と二桁増を維持している。 ○県内当業界について 清酒需要開発事業として、4月23日に「新酒を唄く会」を三の丸ホテルで開催予定。管内唯一のイベントとして広報活動等事前準備中。平成27年度の新酒は、寒暖の差が大きく、溶けやすい米質で、製造に大変苦労したが例年並みの酒を用意できた。 3月25日に県工業技術センターにおいて吟醸酒出品研究会を開催。指導専門員から新酒の出来映えについて高い評価を受けた。厳しい条件でありながらも良い方向で期待が持てる。酒類鑑評会での金賞受賞が二桁に届くことを祈る。
		納豆	中小メーカーは後継者不足で、ジリ貧の経営状態が長く続いている。組合の体制を四支部体制から、三支部になって久しいが、次年度以降、支部制を解消し一本化を検討している。
		菓子	例年、3月は売上・収益共に好調な時期だが、今年は今一つ売上げが伸びず、収益はやや悪化した。4月下旬から始まるゴールデンウィークに売上げの増加を見込んだ販売計画を立てて、達成できるように努力したい。
	繊維工業	袋物	各社とも全体的に仕事量はあり、あまり変化はなかった。さらなる人員、人材確保が今後の課題。
		縫製	
		織物	
	木材・木製品	木材・木製品	製品の荷動きは前年に続き低調で回復感が見られない状況。製品価格も低迷している。手当て必要、当用買いの動きである。
		プレカット	3月も前月に続き不調だった。4月の予定はある程度入ってきた。
	紙・紙加工	段ボール	去年、水害の被害があった会社など、数社から組合を脱退するかもしれないと話が出ている。
		軽印刷	
	印刷	総合	厳しい受注競争が続いており、雇用人員も減少傾向。後継者不足により廃業を考えている業者もある。
		化学・ゴム	プラスチック製品
	窯業・土石製品	石材	
		コンクリート製品	
		焼物	春の行楽シーズンを迎え、賑わいを感じる。お客様の対応に不手際のないよう準備していきたい。今年の陶炎祭も必ず成功させたい。
	鉄鋼・金属	鍍金	前年同様、年度末需要増の企業と需要減の企業で二極化した。自動車部品・重電機・電子機器・建設機械等の部品を扱っている企業は低調、建築・住宅関連の部品を扱っている企業は好調であった。 金属材料価格(銅、ニッケル、亜鉛等)は若干低下、工業製品等の価格は大きな変動はなかった。貴金属関係の材料については価格が高止まりしている。
	一般機器	精密機器	
	電気機器	重電	
電化機器		当月の生産高は、対前年同月比△64百万円(△8.4%)となる706百万円。自動車関連事業所では対前年同月比で若干プラスとなるものの、家電関連事業所では依然として景況が上向かず、対前年同月比は大きなマイナスを示している。	
輸送機器	自動車部品	売上高はやや改善したが、個々の受注に関する努力によるもので、業界が上昇傾向になったとは言えない。	
	昇降機		
	工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月比増加が2社、減少が5社、全体増減率は98%であった。 昨年実施された得意先の増産の反動が生じ、各社の受注は減少している。今後の受注環境の好転も難しい。雇用面では、前月比で横ばいであるが、受注が減少している為、人員を削減することになる。	
その他の製造業			

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成28年3月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	水産卸	精算所取扱高は前年同月比4.57%増。買受人(量販店)の取扱高は伸びているが、仲卸など一般買受人の取扱高は減少傾向にある。
	県南地区卸売業	業種、企業規模により格差があるが、総じて売上が上向き。業界の景況はやや好転しつつある。
	食品卸売業	野菜・果実合計で、前年対比1割増の取扱高となった。野菜に関しては、雨の影響もあり、大根・白菜・レタスなどが単価高となった。果実に関しては、数量減のため全体的に単価高となった。
	セメント	袋セメントの出荷実績は前年同月比10%の減少。4月から3月までの通期も前年比約10%の減少。人手不足も発生しており、建設工事の盛り上がり欠けたことによるものと思われる。
小売業	家電	国内の家電需要は、白物家電を除きいずれも厳しい状況。家電量販店においても、販売不振で、4Kチューナー内蔵テレビなどの普及を望んでいる。消費者は、賢い住生活を求めているので、なるべく活動手段を蓄えて春商戦を迎えたい。
	県北地区共同店舗	
	県央地区共同店舗	売上高、客数ともに減少。特にファッション部門での減少が顕著だった。
	県南地区共同店舗	気温が低かった為か、春物衣料品が不振。全体的にも前年対比93%と物販を中心に苦戦。一方、サービス部門は99%とまずまずの結果であった。
	クレジット	
	農機具	
	中古自動車	新車販売苦戦のあおりを受け、中古車販売も低迷。在庫不足により、出品台数を減らしている。
	石油	原油価格が安値で推移している為、ガソリンの販売価格が前年同月比で約30円下落。省エネ車の普及により需要が減少している為、前年並の売上を確保しようと一般組合員の仕入価格を下回るような安値販売競争が依然として続いており、廃業等に追い込まれる組合員が増えている。 ※ 石油情報センターの給油所石油製品市況調査結果(3月) <ハイオク> 120円(茨城) 123円(全国) <レギュラー> 109円(茨城) 113円(全国) <軽油> 92円(茨城) 97円(全国) <灯油・店頭> 1,004円/18ℓ(茨城) 1,098円/18ℓ(全国) <灯油・配達> 1,176円/18ℓ(茨城) 1,256円/18ℓ(全国)
	水戸	
	下妻	新学期が始まり需要が増加した。原油安により割安感がでて、消費増につながった。近隣へ大型店やスーパーが出店し、厳しい状態が続いている。
サービス業	ホテル・旅館	3月は全エリアとも好転した。日立エリアは、工事関係者の宴会・連泊が目立った。大洗エリアは、団体客より個人客の宿泊が多くみられた。水戸エリアは、梅まつりの時期ということもあり、宿泊稼働率が伸びた。毎年水戸で開催される全国学童錬成大会の参加者も、全盛期ほどではないが回復してきている。ご父兄の方々の放射能への嫌悪感が薄れてきているようだ。
	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車、軽自動車ともに減少。 3月の対前年同月比 普通車:91.9% 軽自動車:96.5%
建設業	総合	年度末工事の工期満了に伴い、各社とも忙しい。人手や機材が足りないため、工期内に完成できない工事も多い。完成時期が3月に集中することが原因。
	電気工事	龍ヶ崎支部及び水海道支部において、街路灯のLED化工事が市から発注されたため、業務が約16倍に増加した。
	管工事	例年、年度末は売上が良くなることが多いが、今年は公共の発注が少なかった為、減少した。
	交通安全施設業	
運輸業	鉄筋	
	県北地区一般貨物自動車運送	主要顧客の出荷量は減少傾向。燃料価格は下がっているが、収益は依然厳しい状況。
	県央地区一般貨物自動車運送	例年通り引越しは多かった。農業資材、ガーデニング用品、春物の衣料品などは動きがあったが、全体的に荷薄である。軽油価格は落ち着いているが、収益の改善には至らない。
その他の非製造業		

非製造業

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	酒	3月末時点で、全国119の自治体が日本酒で乾杯条例を施行。国酒である日本酒での乾杯を提唱し、各種団体へ要請している。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	3月は繁忙期だが、4月は仕事がない。やっとの思いで出した利益が4・5・6月の人件費で圧迫される状況は未だに変わらない。工事発注時期の均等化を何度お願いしてもためなのだろうか。

月次景況調査 3月のDI (前年同月比)

項目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比
景況	▲ 43.8	▲ 45.8	2.1	▲ 52.0	▲ 37.5	▲ 14.5	▲ 34.8	▲ 54.2	19.4
売上高	▲ 25.0	▲ 33.3	8.3	▲ 32.0	▲ 29.2	▲ 2.8	▲ 17.4	▲ 37.5	20.1
収益状況	▲ 39.6	▲ 47.9	8.3	▲ 56.0	▲ 45.8	▲ 10.2	▲ 21.7	▲ 50.0	28.3
販売価格	▲ 10.4	▲ 12.5	2.1	▲ 4.0	4.2	▲ 8.2	▲ 17.4	▲ 29.2	11.8
取引条件	▲ 25.0	▲ 29.2	4.2	▲ 24.0	▲ 29.2	5.2	▲ 26.1	▲ 29.2	3.1

中小企業月次景況調査(平成28年3月)DI値(前年同月比)

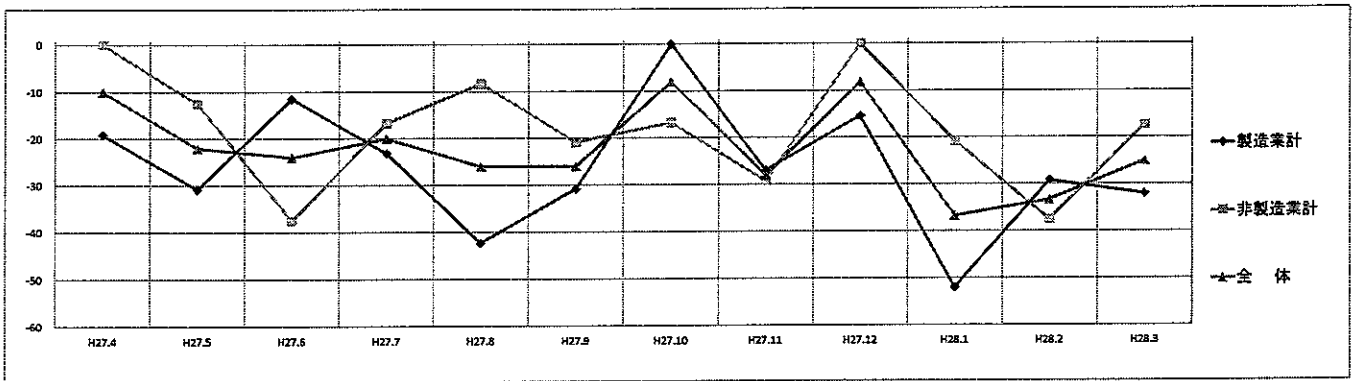
	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			取崩状況			資金繰り			設備稼働率			雇用人員			業界の状況															
	DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)														
		増加	不変		減少	増加		不変	減少		上昇	不変		悪化	好転		不変	悪化		好転	不変		悪化	好転		不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化							
食料品	△ 16.7	1	3	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	1	4	1	6	△ 50.0	0	4	2	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 33.3	1	2	3	6
繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
木材・木製品	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2
紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
印刷	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
化学・ゴム	#DIY/01	0	0	0	0	#DIY/01	0	0	0	0	#DIY/01	0	0	0	0	#DIY/01	0	0	0	0	#DIY/01	0	0	0	0	#DIY/01	0	0	0	0	#DIY/01	0	0	0	0	#DIY/01	0	0	0	0
窯業・土石製品	△ 50.0	0	2	2	4	25.0	1	3	0	4	50.0	2	2	0	4	△ 50.0	0	2	1	4	△ 25.0	0	2	1	4	△ 50.0	0	2	2	4	△ 50.0	0	2	1	4	△ 50.0	0	2	2	4
鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
一般機械	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
電気機器	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
輸送機器	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	0	3	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 25.0	0	3	1	4
製造業計	△ 32.0	2	13	10	25	△ 12.0	2	18	5	26	△ 4.0	3	19	4	26	△ 56.0	0	11	14	25	△ 44.0	0	14	11	25	△ 32.0	0	17	8	25	△ 20.0	0	20	6	26	△ 52.0	1	10	14	25
卸売業	50.0	3	0	1	4	0.0	1	2	1	4	25.0	1	3	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4
小売業 (商店街含む)	△ 40.0	1	4	5	10	0.0	2	5	10	△ 30.0	2	3	5	10	△ 40.0	0	4	5	10	△ 50.0	0	5	5	10	△ 40.0	0	4	5	10	△ 40.0	0	5	3	10	△ 20.0	1	6	3	10	
サービス業	50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	0	2	0.0	0	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2
建設業	△ 40.0	1	1	0	5	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	3	2	5	0.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	1	1	0	5
運輸業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	2	2	4	△ 50.0	0	2	2	4	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
非製造業計	△ 17.4	6	7	10	23	0.0	3	8	3	14	△ 17.4	3	13	7	23	△ 21.7	4	10	9	23	△ 30.4	1	14	6	23	△ 30.4	1	14	6	23	△ 17.4	1	17	5	23	△ 34.8	3	9	11	23
全体	△ 25.0	8	20	20	48	△ 7.7	5	26	8	39	△ 10.4	6	31	11	48	△ 38.6	4	21	23	48	△ 37.5	28	19	48	△ 32.0	0	17	8	25	△ 18.8	1	37	10	48	△ 43.8	4	19	26	48	

D I 値推移表 (H27.4月 ~ H28.3月期)

《売上高の推移》

前年同月比	H27.4	H27.5	H27.6	H27.7	H27.8	H27.9	H27.10	H27.11	H27.12	H28.1	H28.2	H28.3
食料品製造業	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 35.0	0.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 36.8	▲ 36.8
製造業計	▲ 19.2	▲ 30.8	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 42.3	▲ 30.8	0.0	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 52.0	▲ 29.2	▲ 32.0
卸売業	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	▲ 25.0	0.0	50.0	50.0
小売業(商店街含む)	0.0	▲ 27.3	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 72.7	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 81.8	▲ 40.0
サービス業	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	20.0	20.0	20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0
非製造業計	0.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 29.2	0.0	▲ 20.8	▲ 37.5	▲ 17.4
全体	▲ 10.0	▲ 22.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 8.0	▲ 28.0	▲ 8.2	▲ 36.7	▲ 33.3	▲ 25.0

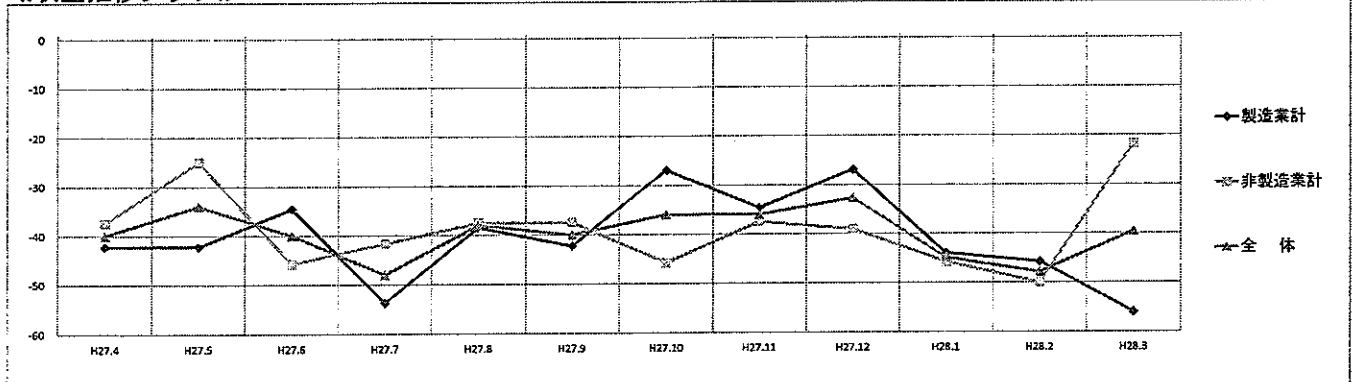
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H27.4	H27.5	H27.6	H27.7	H27.8	H27.9	H27.10	H27.11	H27.12	H28.1	H28.2	H28.3
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 45.0	▲ 45.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 45.0	▲ 52.6	▲ 57.9
製造業計	▲ 42.3	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 53.8	▲ 38.5	▲ 42.3	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 44.0	▲ 45.8	▲ 56.0
卸売業	▲ 75.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 40.0
サービス業	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
建設業	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 40.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 45.8	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 45.8	▲ 50.0	▲ 21.7
全体	▲ 40.0	▲ 34.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 38.0	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 36.0	▲ 32.7	▲ 44.9	▲ 47.9	▲ 39.6

《収益推移グラフ》

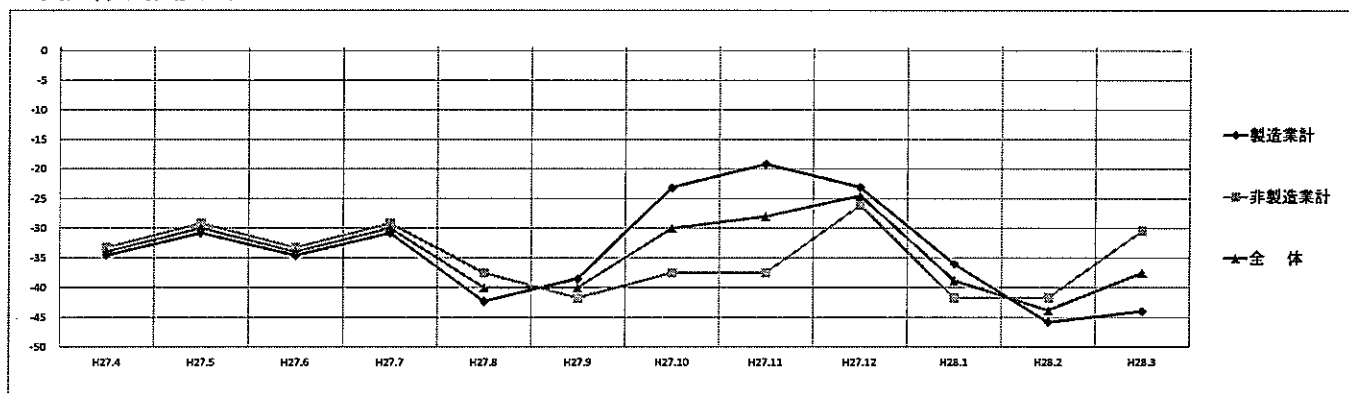


D I 値推移表 (H27. 4月 ~ H28. 3月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	H27. 4	H27. 5	H27. 6	H27. 7	H27. 8	H27. 9	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 23.1	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 45.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 47.4	▲ 47.4
製造業計	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 38.5	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 36.0	▲ 45.8	▲ 44.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 50.0
サービス業	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 26.1	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 30.4
全体	▲ 34.0	▲ 30.0	▲ 34.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 24.5	▲ 38.8	▲ 43.8	▲ 37.5

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H27. 4	H27. 5	H27. 6	H27. 7	H27. 8	H27. 9	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 23.1	▲ 35.0	▲ 10.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 45.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 42.1	▲ 57.9
製造業計	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 38.5	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 44.0	▲ 37.5	▲ 52.0
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 60.0
サービス業	100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0
建設業	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 40.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 45.8	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 54.2	▲ 54.2	▲ 34.8
全体	▲ 34.0	▲ 30.0	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 32.0	▲ 32.7	▲ 49.0	▲ 45.8	▲ 43.8

《景況推移グラフ》

